

獣医師



農林水産部 中央家畜保健衛生所
病性鑑定班 技師 千葉 脩史

経歴 採用3年目

H28年 中央家畜保健衛生所
病性鑑定班 病理担当
H27.5月～H27.12月
動物衛生研究所
北海道支所にて
病性鑑定研修
H26年 入庁
農林水産部
南部家畜保健衛生所
防疫班

ある日のスケジュール

8:15 出勤(徒歩または自転車)
8:30 朝礼、作業予定確認
8:35 組織標本作製
12:00 昼食、休憩
13:00 午前中に作製した組織標本
を顕微鏡で見て診断
15:00 病性鑑定の回答書作成
16:00 次の依頼材料の切り出し
17:15 退庁
18:00 友人と飲みに行く、
または、趣味を満喫

わたしの職場はこんなところですよ

家畜保健衛生所は県内に3カ所(中央・南部・北部)あり、牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした疾病予防、検査などを行う「防疫班」、環境保全や薬事関係の仕事などを行う「総務・衛生指導班」、BSE(牛海綿状脳症)や鳥インフルエンザのモニタリング、その他疾病の原因究明のための精密検査を行う「病性鑑定班」があり、各班が連携して動物・食・人の安全を担う専門機関です。職員は皆、専門知識が豊富で、話しているとても勉強になります。また、職員同士が普段からよくコミュニケーションをとるので、どんなことでも話しやすい風通しのよい職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

わたしは、中央家畜保健衛生所の病性鑑定班に所属し、病理検査担当として疾病の原因究明を行っています。普段は作製した組織標本を顕微鏡で観察し、疾病診断を行っています。特に病理検査担当は、疾病の最終診断を行う重要な仕事であり、細菌検査やウイルス検査の結果と合わせ総合的に病気の原因を判断できるよう日々勉強し、最新知識の習得に努めています。

秋田県のここが好き!

食べ物がうまいのはもちろんのこと、地酒、地ビールなど、酒類も豊富かつ、うまい!また、海や山が近く、一年中様々な遊びを楽しめます。特に今の職場は海のとて近くにあり、オフにはたまに釣りをし、その日の食材を調達したりしています。

農林水産部の獣医師職のやりがいはここ!

病理以外の様々な検査を実施しても原因がなかなか分からない疾病に遭遇した際、標本作製して顕微鏡で見て、教科書や論文などを調べて、ようやく病気の原因を究明できた時には、「農家さんの役に立てた」「頑張ってたよかったです」と実感できます。

これまでで特に印象に残っているエピソードはありますか?

入庁してすぐ、当時全国的に流行していた豚流行性下痢という豚の疾病が県内で初めて発生したときのことが印象深いです。当時は入庁したばかりで、何をどうしたらいいのかほとんどわかりませんでした。上司の的確な指示のおかげで、なんとか落ち着いて対応に当たることができました。この経験もあってか、ある程度のことには冷静に対応できるようになりました。

オフは何をしていますか?

終業後や休日は知り合いと遊びに出かけたり、飲みに行ったりしています。冬にはスキー場に行くこともありますし、他にも自分の趣味を満喫し、充実したオフの時間を過ごすことができます。

入庁前に抱いていたイメージは実際に働いてみて変わりましたか?

学生時代にインターンシップで家畜保健衛生所に来たことがあったため、現場で行う仕事の内容についてはある程度知っており、現場作業に関してはほぼイメージ通りでした。事務作業については、いざ自分で作業するとなると大変苦労しましたが、相談しやすい職場環境なので、一人で抱え込まずにできます。

採用試験の準備は、どのようにしましたか?

試験前年から、大学で行われている公務員試験講座に出席しました。同じく公務員を目指す人が何人かいて、一緒に勉強したりもしました。また、自分は面接を苦手としていたので、教授や友人に付き合ってもらい面接の練習を行いました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へのメッセージ

自分の時間をつくりやすく、楽しく、美酒美食を満喫できる秋田県職員に是非、ご応募ください!

獣医師



農林水産部 南部家畜保健衛生所
防疫班 技師 藤原 ちさと

経歴

採用1年目

H28年 入庁
農林水産部
南部家畜保健衛生所防疫班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤(自転車)
- 8:30 朝礼、日程確認
メールチェック
- 9:00 消毒済みの器具の洗浄・点検
出張用器具等持ち物の確認
- 9:40 出発
- 10:30 鳥インフルエンザ検査のための
採血および採材
農家からの聞き取り
- 12:00 昼食(出張先付近の道の駅)
- 13:30 帰庁
車両や使用物品の消毒
- 14:00 血液の処理(血清分離)
スワブ(綿棒)の冷凍保存
- 15:00 業務内容の報告・復命
- 16:00 翌日の出張準備
- 17:00 翌日の日程確認
- 17:15 退庁
- 18:30 友人と外食・映画鑑賞

わたしの職場はこんなところですよ

家畜保健衛生所(通称:家保^{かほ})は、牛・馬・豚・鶏などの家畜衛生の向上と畜産振興を業務とする機関です。

県内で北部・中央・南部の3カ所があり、私の所属する南部家保は家畜を病気から守る防疫業務などを行う「防疫班」と、生産者への衛生指導や獣医療・動物用医薬品に関する指導などを行う「総務・衛生指導班」の2班体制で、各班5~6人で組織されています。年代はさまざまですが、時には冗談も飛び交う明るくアットホームな職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

私は防疫班に所属し、家畜が病気にかかっているかチェックするため、実際に農場に赴いて農家さんの話を聞いたり、家畜から血液などを採って検査したりしています。担当は緬山羊や養蜂などですが、担当家畜に限らずチームプレーで業務に当たることが多いです。

時には研修会に参加して家畜の病気に関する最新の動向や情報を学んだり、畜産イベントのスタッフとして勤務することもあります。

秋田県のここが好き！

秋田県は四季折々の豊かな自然、美味しい食べ物、純朴で温かい県民性が魅力だと思います。

総じて外出の仕事が多いので、四季の移り変わりを感じつつ、各地域の美味しい食べ物に出会うことができます。

農林水産部獣医職のやりがいはここ！

大きな使命としては、家畜の保健衛生の向上と畜産の振興を通して県民の食の安全を守り畜産農家の所得向上を図るということもありますが、何より、家畜の病気の原因を追求すること、農家さんと一緒に対策を考えるを通して農家さんの不安に寄り添えることが一番のやりがいだと感じています。

採用されて11ヶ月、どんな変化、成長がありましたか？

畜産はもちろん、秋田県自体や専門外のことに対しても関心を持つようになりました。また、自身の知識や技術を向上させるにはどうしたらよいかを日頃から考えるようになりました。

採用試験の準備はどのようにしましたか？

どうして秋田県の公務員獣医師になりたいのか、大学時代は何を頑張ったのか、将来秋田県の公務員獣医師として秋田の畜産をどうしたいのかなど、一般的な質問に対して自分なりの考えを事前にきちんと整理しておきました。そのおかげで小論文や面接で結論を導くのに苦労せずに済みました。

入庁前に抱いていたイメージは実際に働いてみて変わりましたか？

地味で淡々とした仕事だと思っていたのですが、扱う動物種が広く、大学で学んだ専門知識も存分に活用できる仕事なので、毎日発見があって楽しいです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田県と聞くと畜産のイメージはあまりないかもしれませんが、実は畜産は秋田県の農業産出額において米に次ぐウエイトを占める、まだまだ発展の可能性を秘めた基幹作目なのです。

秋田県職員に少しでも興味を持った方、ぜひ一緒に働きましょう！
お待ちしております！